

建設物価 建設資材物価指数[®] 2026年4月分 【速報】

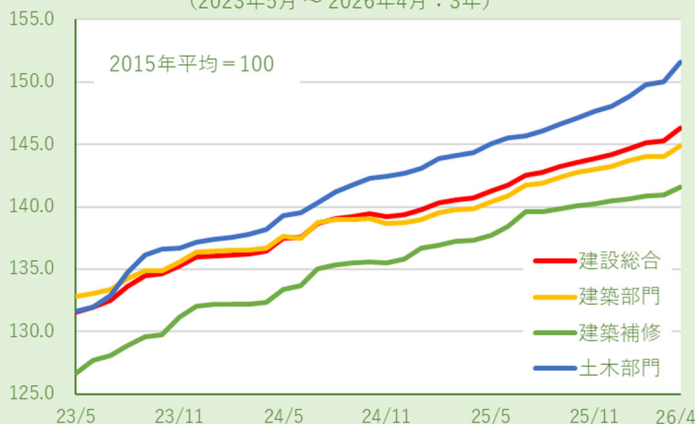
建設物価 建設資材物価指数は、建設資材の総合的な価格動向を明らかにすることを目的に作成されており、その対象を建設工事で直接的に使用されている建設資材に限定した物価指数です。なお、本指数は2015年平均を100として算出しています。

1. 指数の動向（全国平均）

2026年4月の建設資材物価指数の動向は、**建設総合**(全国平均)が**146.3**となり、前月比+0.7%(+1.1ポイント)と**17カ月連続の上昇**となった。前年同月比では+4.0%(+5.6ポイント)となった。部門別では、**建築部門**が**144.9**となり、前月比+0.6%(+0.9ポイント)と**17カ月連続の上昇**となった。前年同月比では+3.6%(+5.1ポイント)となった。**建築補修**は**141.6**となり、前月比+0.4%(+0.6ポイント)と**17カ月連続の上昇**となった。前年同月比では+3.1%(+4.3ポイント)となった。**土木部門**は**151.6**となり、前月比+1.1%(+1.6ポイント)と**2020年6月以降71カ月連続の上昇**となり、最高値を更新した。前年同月比では+5.0%(+7.2ポイント)となった。

建設資材物価指数【全国平均】

(2023年5月～2026年4月：3年)



2. 前月比寄与度（大分類別・全国平均）

プラス寄与

【石油製品・舗装材料】燃料油

中東情勢の緊迫化を要因とした原油価格の急騰を受け、卸売価格が上伸し、指数動向のプラスに寄与

【鉄鋼】形鋼

原材料費などの製造コストの増加分を転嫁した形鋼の値上げが浸透し、指数動向のプラスに寄与

マイナス寄与

【非鉄金属】銅製品

世界的な相場の下落を背景とした銅製品の値下がりが、指数動向のマイナスに寄与

建設総合 前月比寄与度【全国平均】



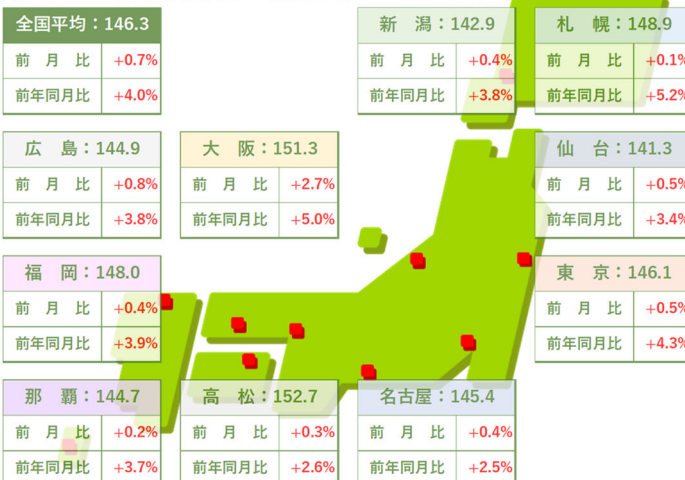
建設総合 前年同月比寄与度【全国平均】



3. 都市別の動向（建設総合部門）

都市別にみると、**【大阪】**（前月比+2.7%）では、協同組合が打ち出した大幅な値上げが浸透した生コンクリート価格の推移が指数動向のプラスに大きく寄与した。**【広島】**（前月比+0.8%）では、コンクリート製品や鋼管類において、材料コストや輸送コストの増加に伴うメーカーの値上げが浸透したことが指数動向のプラスに寄与した。**【仙台】**（前月比+0.5%）では、鋼管類の値上げの他に、世界的な原材料費の高騰や円安の影響による製造コストの増加を要因とした産業用火薬類の値上がり指が指数動向にプラスに寄与した。**【東京】**（前月比+0.5%）では、産業用火薬類の他に、輸送コストの増加に伴う砂利・碎石の価格の値上げが浸透し、指数動向のプラスに寄与した。

各地の建設総合部門の指数【2026年4月分】



【指数に関するお問合せ先】

総合研究所 経済研究課

TEL：03-3663-7235 E-mail：econ@kensetu-bukka.or.jp

【資材価格に関するお問合せ先】

調査統括部 調査統括課

TEL：03-3663-3892 E-mail：toukatsu@kensetu-bukka.or.jp